

第 27 回 国 際 親 善 テ ニ ス 大 会

主 催 港区教育委員会 (財)港区スポーツふれあい文化健康財団 (財)港区体育協会

主 管 港区テニス連盟

大会役員

大会会長 堂山 幸男

ディレクター 岡山 静

レフェリー 李 鍾官

大会運営係 三〇会

日 時 2010年6月6日 8:00~17:00 雨天中止(小雨の場合決行)

会 場 麻布テニスコート(オムニコート) 港区南麻布5-6-33

当日の連絡 090-1117-5121

種 目 ミックスダブルス(トーナメントにおいては男子W、女子W、ミックスWとする。)

集合時間 AM 8:00 までに受付を終了してください。

試合方法 3チームによるリーグ戦後、各順位トーナメントを行う。

セルフジャッジ方式(天候等により変更する場合があります)

そ の 他

・試合球は主催者が用意する。

・試合前の練習は各サイド、サービス2本とする。

・けいれんやその他不測の事態が起きた場合は、日本テニス協会発行の「ルールブック」に準じる。

・各コートの責任者が成績をとりまとめて本部に連絡する。

注意事項 昼食の用意をして参加してください。

セルフジャッジについて(選手の義務)

・判定とコール

(1) ネットより自分側に関する判定は、全て自分の責任である。

(2) 判定とコール〔「アウト」「フォールト」等〕は瞬間的に、又大きな声とジェスチャーで行われなければならない。

・カウントのコール(サーバーの義務)

新しいポイント、新しいゲーム、新しいセットの始まる前には、サーバーは必ずレシーバーに聞こえるように大きな声でカウントをコールしなければならない。

・サービスのレット

レシーバーから見て、どう見てもサーバーがフットフォールトを犯しているとは判断したときには速やかにレフェリー(又はコートレフェリー)を呼び事情を説明して、善処してもらうことが出来る。(但し、コートを出るときには相手方の了承が必要である)

・試合が終了したら

勝者はスコアを大会本部に報告しなければならない。

